

ちぎんの仲間とともにがんばろう！

第11回 年金部会総会

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

滋賀銀行従業員組合・年金者部会は守山市において10月21日午後3時半より第11回総会を開催しました。総会には25名(会員21名)が参加し経過報告と新年度の取組、会計報告、役員留任などが承認されました。総会終了後滋賀銀行従業員組合との合同交流会が開催されました。

総会は谷事務局長の司会で始まりました。谷さんは「今年はずいぶりに『ちぎんの会』の総会が行われ、全国の仲間の活動が反映されることを期待しています」と開会の挨拶があり、最初に和田一郎年金者部会長が挨拶しました。

総会では谷事務局長の挨拶が行われ、私も初めてだったのですが、楽しく参加させて頂きました。今日はそれ以来のお集まりだと思います。谷さんから紹介がありました「ちぎんの会」の総会が宮城県の松島で行われ、参加させて頂きました。交流会で挨拶をした後、一番前の席に座っていたのですが地元七十七徒組で一番に話されたのが皆さんもご存じの菅原昭三さん。何を話すのかなあと聞いていたのですが「昭三」の話でした。そして私の席で一番に聞かれたのが「日根野さんはどうしてる」でした。やはり滋賀徒組の看板は日根野さん。と言うことを改めて知りました。参加者は総勢75名。地元七十七徒組は30名の参加で非常に盛大な総会でした。私も挨拶しながら会場を見渡して顔と名前が一致するのは数名でしたが地銀連



挨拶する和田部会長

というあのパワーは・・・どういううたらいいの・・・ほんまにひしひしと感じました。「地銀連の闘いは、すごいもんやつたんなやなあ」と思いつながら交流を重ねました。昭和3年生まれの菅原昭三(84歳)さんは一番に日根野さんをお呼び、地銀連本部の諸星さん、御嶽さんも昭和3年生まれ、地銀連の同年の仲間を紹介されていきました。その諸星さんも御嶽さんも参加されていきました。地銀連本部からは長い間書記をして頂いた千葉さんも元気に参加されていきました。滋賀の皆さんによるしくという言葉だったのでお伝えしておきます。非常にいい会に参加させて頂きました。

翌日は被災地のバスツアーを企画いただき参加してきました。後で三橋さんから詳しい報告があると思いますが、被災地は3・11から1年7ヵ月過ぎていのにいまだに海



交流会で近況を語る日根野さん

岸線沿いに車が2階建てに放置され、がれきはそのまま積まれています。線路が流され、現在も不通のJR野蒜駅前の水銀灯が、へし折れたままで放置されている。霞ヶ関では住宅の復興が問題になっているが被災地現地では、すぐにもできる生活関連がそのまま放置されている。どこの国の政府やと言いたい。現地を見て皆さんにそのまま報告するのが、今できる僕らの使命だと思えます。滋賀からは三橋さん、植木さん、澤井さん、小原さん、私の5名が参加させて頂きました。

<新年度役員>
部会長：和田一郎
事務局長：谷 一明
世話人
植木和美・倉見栄一
坂本幸男・田中紀美子
寺田源吾・古田雅二
三橋俊夫

闘ってきたちぎんの仲間の願いもすっかりと受け止めてそれぞれの持ち場で頑張ってくださいませよう。しかしながらみなさん今年です。健康に留意しながらできることを一歩一歩前に進めましょう。
次に挨拶された中島徒組委員長は「来年4月からの定年延長は、金融業界では再雇用で対応している。また、金融労連参加組合にも企業年金の年金受取額の引き下げ提案が出てきている。労働条件切り下げを許さない運動に全力であたる。先輩皆さんの経験と知恵をお借りする時がかならず来る。よろしくお願いします」と挨拶されました。
総会は、ちぎんの会に参加した5名が感想やまなましい体験を報告。次年度役員は、現役員が留任。「ちぎんしがの会」発会の行事を会員からの積極的な提案を頂きながら成功させることを確認し終了。
その後、従業員組合が主催する交流会に参加しました。

